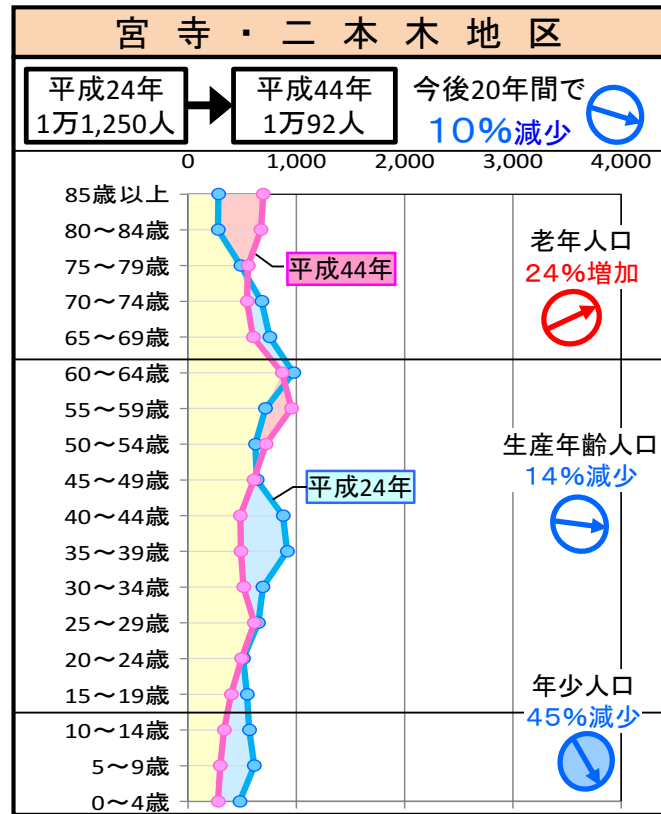


宮寺・二本木地区の概要

資料 1

【人口動向】



【公共施設の配置状況】

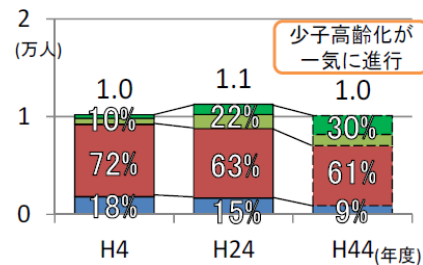
施設の種類		施設名
地域対応施設	公民館	宮寺公民館、二本木公民館
	小学校	宮寺小学校、狭山小学校
	中学校	武蔵中学校
	保育所	宮寺保育所、二本木保育所
	学童保育室	宮寺学童保育室、狭山学童保育室
	地区体育館	宮寺地区体育館
広域対応施設		博物館、勤労福祉センター、老人福祉センター、障害者活動センター

【公共施設の現状と課題】

- ・宮寺公民館は、建設してから 30 年以上経過しており、今後計画的な改修を行う必要があります。また、稼働率は宮寺公民館が 22%、二本木公民館が 33%となっており、利用状況が低い状況です。
- ・宮寺小学校及び狭山小学校は、建設してから 40 年以上経過しており、老朽化が進んでいます。
- ・児童数については、ピーク時（宮寺：15 学級 561 人）（狭山：18 学級 612 人）と比較して宮寺小学校が 4 割、狭山小学校が 7 割程度になっています。このことから、今後は、施設の再整備の検討をする必要があります。
- ・生徒数については、ピーク時（武蔵：15 学級 633 人）と比較して、6 割程度となっています。
- ・博物館と勤労福祉センター、老人福祉センターやまゆり荘は、今後 10 年間で老朽化に伴う改修の時期を迎えます。
- ・博物館は、市内でも災害時の拠点施設に指定されていることから、計画的な整備方針の策定が必要です。

〔人口動向の特徴〕

- ・市内でも年少人口の減少率が45%（約750人）と最も高く、構成割合は9%となります。実質人数は、904人と予測されています。
 - ・今後は人口構成の変化による利用ニーズを詳細に把握し、地区内に必要な機能の再整備が求められます。
-
- | 項目 | 2018 | 2020 | 2025 |
|------------|------|------|------|
| 年少人口 (千名) | 1.0 | 1.1 | 1.0 |
| 生産年齢人口 (%) | 72% | 63% | 61% |
| 高齢人口 (%) | 10% | 22% | 30% |
- 少子高齢化が一気に進行



	平成 24 年(比率)	平成 44 年(比率)
老年人口	2,475 人(22%)	3,063 人(30%)
生産年齢人口	7,125 人(63%)	6,125 人(61%)
年少人口	1,650 人(15%)	904 人(9%)

〔施設配置の特徴〕

- ・地区内に公民館、小学校、保育所、学童保育室が2施設ずつあり、統合の対象となります。
- ・広域対応施設としては、博物館や勤労福祉センター、老人福祉センター等が整備されています。その他にも、老人憩いの家が12施設地区内にきめ細かく整備されています。
- ・主要施設のトータルコストが、市内で3番目に高くなっています。

【地区の成り立ちと現状、将来の見通し】

- ・宮寺地区と二本木地区はもともと別々の村であり、古くからそれぞれに小学校がありました。
- ・地形的には、南部は丘陵となっており、住居は少なく、地区全体がおおむね平坦地ですが、国道 16 号及び県道狭山下宮寺線を境に北側がやや高く、台地上に地区が広がっています。
- ・地区の東部が所沢市、西部は西多摩郡瑞穂町と接しており、二本木地区は、元は同じ村だった地区が存在することもあり、瑞穂町との関わりが深い地区です。
- ・地区内に鉄道駅はなく、中央部と南部にそれぞれ路線バスが運行されています。
- ・市中心部への移動については、中央部地区は路線バスでアクセス可能ですが、南部地区は所沢市に所在する小手指駅へのアクセスが中心となります。なお、地区内の公共施設を結ぶ路線バスはありません。
- ・地区としては、工業団地周辺に工場地、北東部に大型商業施設が存在しますが、主に住居が中心の地区となっています。
- ・土地地区画整理事業により、狭山台地区の一部で住居が新築されている地域もありますが、宮寺・二本木地区の広範囲が市街化調整区域であるため人口密度は低い地区です。
- ・昭和 40 年代以降に大規模宅地開発や工業団地誘致が進み、昭和 50 年代にかけて人口が急速に増加しました。平成以降も狭山台土地地区画整理事業の進展に伴い同地区の人口が増加しているため宮寺・二本木地区全体では人口の微増の傾向となっています。しかし、今後は、老年人口が増加する一方、年少人口の減少率が大幅に高くなると見込まれています。

【施設配置図】



【公民館の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
宮寺公民館	790.27 ㎡	昭和 58 年	34 年	RC 造	市
二本木公民館	1,216.70 ㎡	平成 18 年	11 年	RC 造	市

- ・宮寺公民館については、建設後 30 年経過しており、計画的な修繕対策の検討が必要になっています。
- ・二本木公民館は、築 11 年と比較的新しいため、建物としては継続的な活用が前提となります。

②利用状況

	利用件数	利用者数	稼働率	住民 1 人当たりの年間利用回数	トータルコスト
宮寺公民館	1,594 件	16,801 人	22%	1.9 回	3,629 万円
二本木公民館	2,097 件	24,374 人	33%	10.9 回	3,857 万円

- ・利用者数については、両施設とも全公民館の平均利用者数の 39,793 人を下回っています。
- ・稼働率は両施設とも低く、特に宮寺公民館は、全公民館の平均稼働率 34%を大きく下回っています。
- ・住民 1 人当たりの年間利用回数を見ると、宮寺公民館は全公民館の平均利用回数の 3.6 回を大きく下回っています。
- ・両施設とも、トータルコストの平均額の 4,069 万円は下回っています。

【小中学校の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
宮寺小学校	4,150.00 ㎡	昭和 41 年	51 年	RC 造	一部借地
狭山小学校	4,802.00 ㎡	昭和 46 年	46 年	RC 造	市
武蔵中学校	5,568.00 ㎡	平成 25 年	4 年	RC 造	一部借地

- ・宮寺小学校と狭山小学校については、建設後 40 年以上が経過しており、計画的な修繕対策の検討が必要になっています。
- ・宮寺小学校及び武蔵中学校の敷地の一部が借地となっています。

②利用状況（各年 5 月 1 日現在）

	平成 24 年度 児童生徒数	平成 24 年度 学級数	平成 29 年度 児童生徒数	平成 29 年度 学級数	児童生徒数 増減率
宮寺小学校	261 人	16 学級	217 人	9 学級	－16%
狭山小学校	470 人	15 学級	449 人	16 学級	－4%
武蔵中学校	307 人	9 学級	361 人	10 学級	＋17%

- ・児童生徒数については、5 年前と比較すると、武蔵中学校は増加していますが、宮寺小学校及び狭山小学校は減少しています。特に、宮寺小学校は減少率が大きく、1 クラスの学年もあります。

【保育所の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
宮寺保育所	553.57 ㎡	昭和 49 年	43 年	RC 造	市
二本木保育所	331.81 ㎡	昭和 42 年	50 年	RC 造	法人

- ・両施設とも、築 40 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要になっています。
- ・二本木保育所は、用地が法人所有の借地となっており、その解消が課題となっています。

②利用状況

	定員	平成 24 年度 入所児童数	平成 29 年度 入所児童数	増減率
宮寺保育所	120 人	77 人	59 人	－23%
二本木保育所	60 人	52 人	60 人	＋15%

- ・入所児童数は、5 年前と比較すると、宮寺保育所は 23%と大きく減少していますが、二本木保育所は増加しています。
- ・両施設とも老朽化が進んでいるため、市民ニーズを把握した上で、今後の統合の方向性を検討していく必要があります。

《宮寺・二本木地区の検討課題》

- ・小学校については、既存施設を活用することを前提としますが、将来的な更新の段階では新たな用地取得も視野に入れて検討する必要があります。
- ・学童保育室については、小学校の改修に合わせて校舎への複合化を図るとともに、小学校に合わせて統合を検討する必要があります。
- ・中学校については、施設が新しく地区内に 1 施設であり新たな統廃合の見込みはないため、既存施設を活用することを前提とします。
- ・保育所については、現在の場所での建替えの他、移転についても検討します。なお、移転先については、小学校隣接地も検討することとします。
- ・現在、宮寺地区、二本木地区にそれぞれ小学校が配置されていますが、統合をする場合は児童の通学に配慮する必要があります。
- ・地区センターの配置については、地区内の公共施設のバランスに配慮する必要があります。